

ポスター | 1-14 成人先天性心疾患

ポスター

成人先天性心疾患：フォンタン手術

座長:上野 倫彦 (日鋼記念病院)

Fri. Jul 17, 2015 1:50 PM - 2:20 PM ポスター会場 (1F オリオン A+B)

II-P-112~II-P-116

所属正式名称：上野倫彦(日鋼記念病院 小児科)

[II-P-114]成人後に Fontan手術適応となった2症例

○高岡 哲弘, 平田 康隆, 益澤 明弘, 尾崎 晋一, 有馬 大輔, 小野 稔 (東京大学医学部附属病院 心臓外科)

Keywords:Fontan, 手術適応, 成人

近年、Fontan手術は1～2歳で到達するように治療計画を立てるのが一般的である。われわれは、成人後に初めてFontan手術適応となった2症例を経験したので報告する。【症例1】26歳女性。診断はSRV, polysplenia。1ヶ月時にrt.BTS, 3歳時にlt.BTS 施行。9歳時の心臓カテーテル検査でFontan手術の適応なしと判断され、夜間のみHOT導入していた (SpO₂ 70台)。26歳時に、Rp 1.0でFontan手術適応と判断され、bil.BCPS 施行。3ヶ月後にTCPC施行し、経過は順調であった。【症例2】29歳男性。診断はDORV, PS, TGA, SRV, TAPVR。2歳、6歳、7歳、20歳時の心臓カテーテル検査でFontan手術適応なしと判断された。(PAP 45/27(45), Qp/Qs 2.8)。SpO₂ 90前後。29歳時の心臓カテーテル検査で、Qp/Qs 5.3, Rp 2.7, LA-common chamber(C.C) 間圧較差 7mmHgのため、PAB 適応と判断された。PAB施行後、Qp/Qs 1.5, PAP 21/6(13)mmHgでグレン手術の適応となった。LA-C.C間の狭窄解除とグレン手術を施行し、経過は順調であった。HOT下でSpO₂ 86%となった。グレン術後の心臓カテーテル検査で、Qp/Qs 1.5, Rp 1.1でTCPC適応と判断され、手術待機中である。【考察および結語】小児期にFontan手術不適応となった症例の中には、成人後に適応となる症例が少数ではあるが存在する。一旦不適応と判断されても、定期的な診察と心臓カテーテル検査を含めた正確な評価が重要であると考えられた。